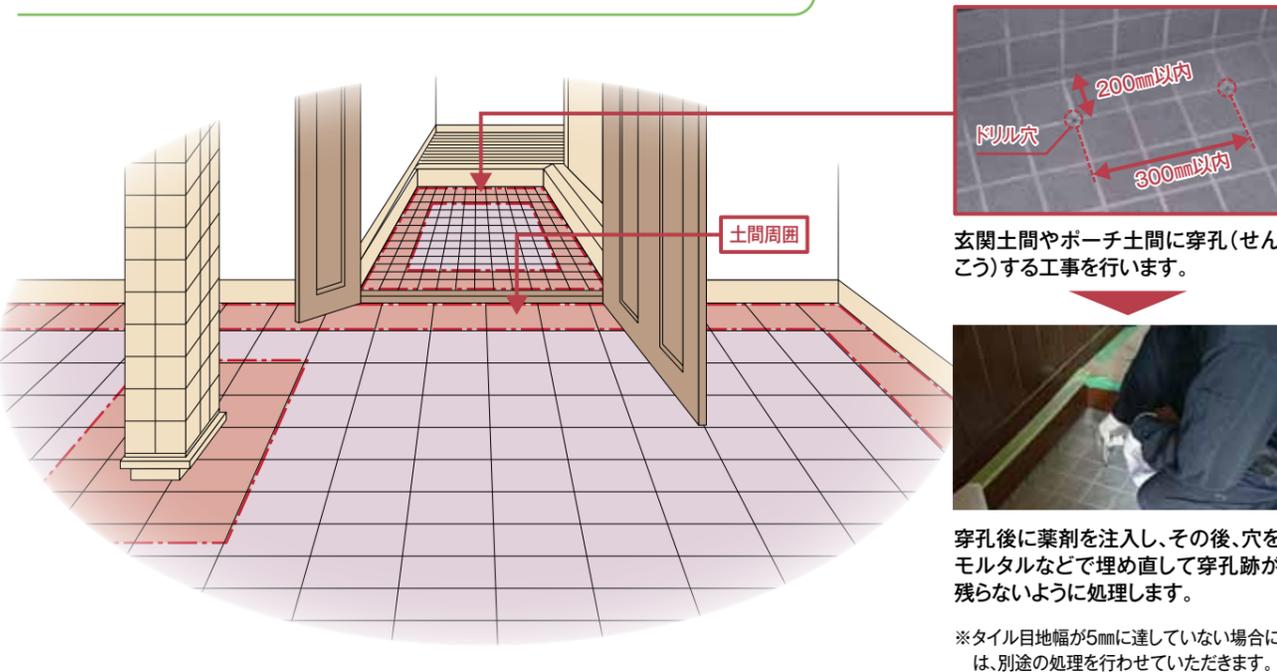




▶ 工事内容における注意点

前記に記した施工の他に、玄関土間・勝手口土間・ポーチ土間への薬剤の穿孔注入を行います。なお、この作業は下図の赤いエリアのタイル目地などに穴を開け、そこに薬剤を注入するものです。その後、この穴をモルタルなどでしっかり塞ぎますので、薬剤は飛散しません。

保証書発行



■ 仕様部材

呼称	形状	形態	成分
● アリダンA剤TN20 ※オレンジ色		ロンテナー20kg入り(液状) ※希釈済	ワックス成分(樹脂分混入) 防蟻薬剤 イミダクロプリド
● アリダンペーストTN35L ※オレンジ色		ポリ缶3.5kg入り(液状) ※希釈済	アクリル樹脂(エマルジョン) 防蟻薬剤 シラフルオフェン イミダクロプリド
● アリダンG剤TN10C ※無色透明		ロンテナー10kg入り(液状) ※希釈済	水 乳化剤 防蟻薬剤 イミダクロプリド

●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。

フクビ化学工業株式会社

本社/福井市三十八社町33-66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471
東関東 ☎(029)841-7611 宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400
西東京 ☎(042)529-3911 神奈川 ☎(045)470-1050 新潟 ☎(025)241-7832
北陸 ☎(077)38-8010 静岡 ☎(054)288-3600 京都 ☎(075)662-2315
岡山 ☎(086)232-0601 広島 ☎(082)246-7211 高松 ☎(087)822-2301
福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220 沖縄 ☎090-1943-2112

<https://www.fukuvi.co.jp>

KC560 2018.08 (R)

アリダンシート敷設物件に対応!!
今あるアリダンシートを有効に活用する
信頼の「純正」保証延長工法です!!



布基礎

シート下
(樹脂被膜形成工法)

土間
コンクリート

ベタ基礎

基礎際
(アリダンペースト工法)

今お住まいの住宅には 当社のアリダンシートを 採用いただいております。



「アリダンシート」は信頼性の高い
「防蟻」「防湿」性能を有した床下土壌用シートです。

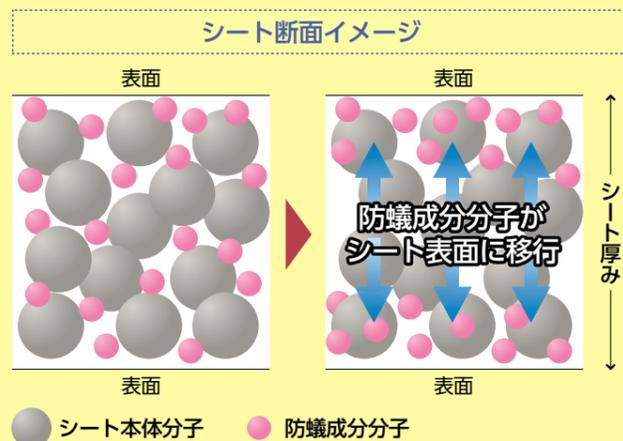
アリダンシート 3つの特長

- 1 薬剤を使用しない安全な防蟻・防湿シート工法
- 2 防蟻・防湿の二重効果を発揮
- 3 シロアリ経路の完全遮断

アリダンシートの防蟻メカニズム

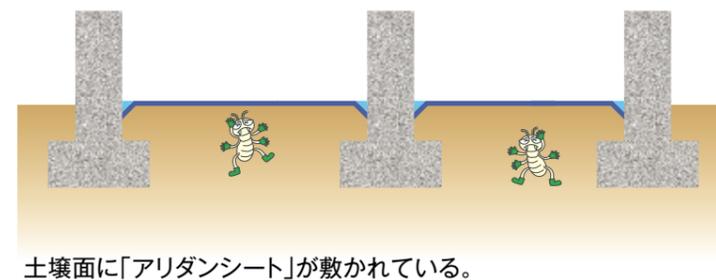
シート本体分子と防蟻成分分子が、互いに「相溶性」というなじみやすい性質を有しながらも、水と油のように反発しあっているため、防蟻成分分子がシート表面側へ追いやられるような挙動が起こる。

その結果、防蟻成分分子はゆっくりとシート表面に移行していき、シート表面で防蟻効果を発揮する。シート表面の防蟻成分分子は次々にシート内部から表面へと移行していくので、長期にわたり防蟻効果が維持される。

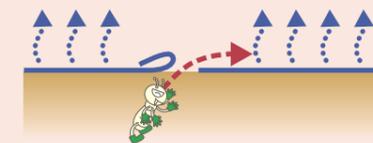


基礎の構造によって「アリダンシート」は次のように敷かれています。

● 布基礎仕様の場合

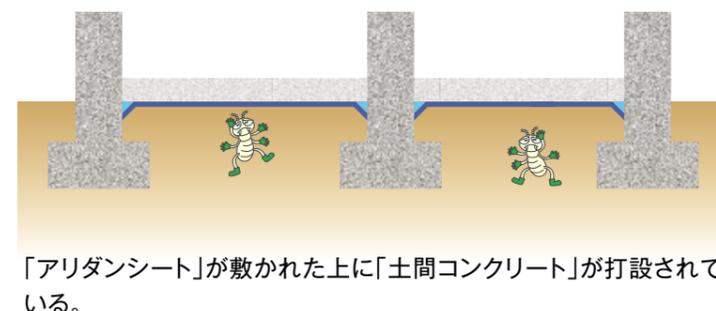


10年以上が経過した物件に考えられるリスク

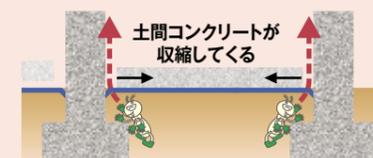


- 「アリダンシート」が露出しているため薬剤成分が空气中に抜けて、防蟻効果が薄れてくる。
- シートがめくれてシロアリが侵入してくる。

● 土間コンクリート仕様の場合

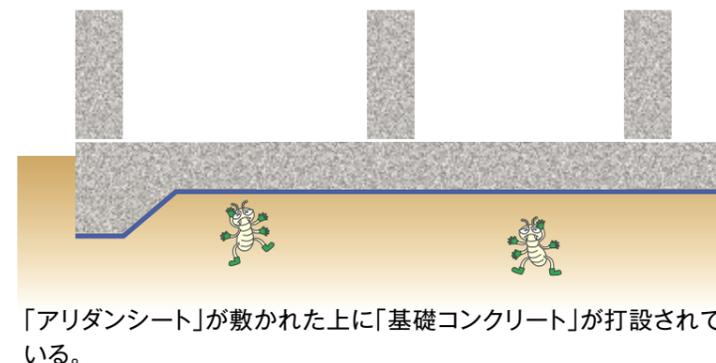


10年以上が経過した物件に考えられるリスク

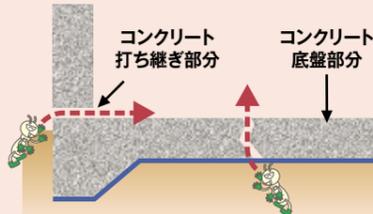


- 土間コンクリートの収縮によってできる隙間からシロアリが侵入してくる。

● ベタ基礎仕様の場合



10年以上が経過した物件に考えられるリスク



- コンクリート打ち継ぎ部分の隙間や、コンクリート底盤部分の経時的なひび割れ箇所からシロアリが侵入してくる。

これらのリスク回避のために、再施工をお勧めします。

- アリダンの新築時の保証は**10年間**です。
- 10年を過ぎた保証切れ物件は、その後のシロアリ被害に対して、駆除
- 新築時に採用いただいた防蟻工法と同様の**再施工**工事による、

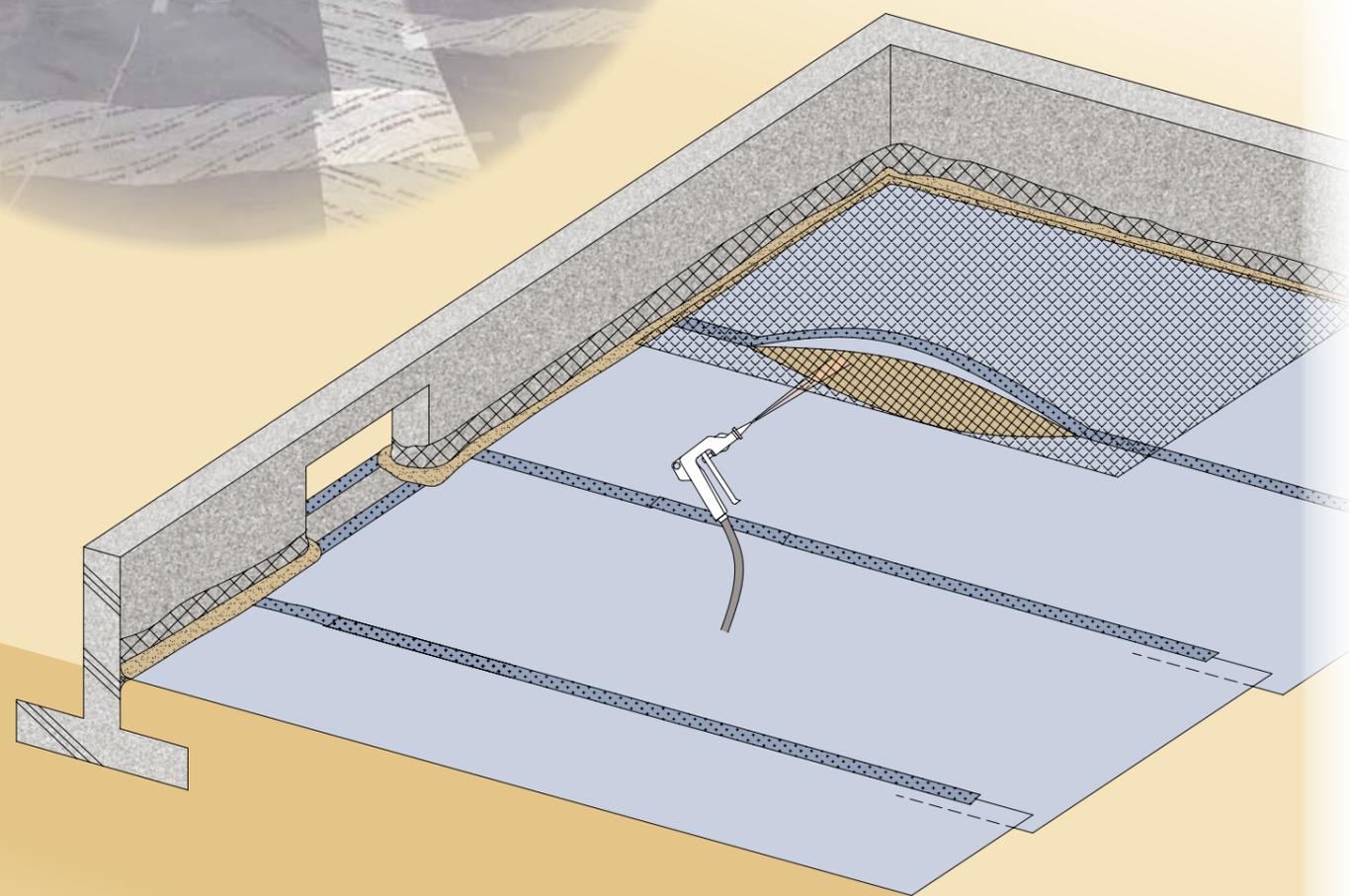
- 修復費用が補償されません。
- シロアリ予防と保証延長をお勧めします。

布基礎

土壌面にアリダンシートが敷かれている物件

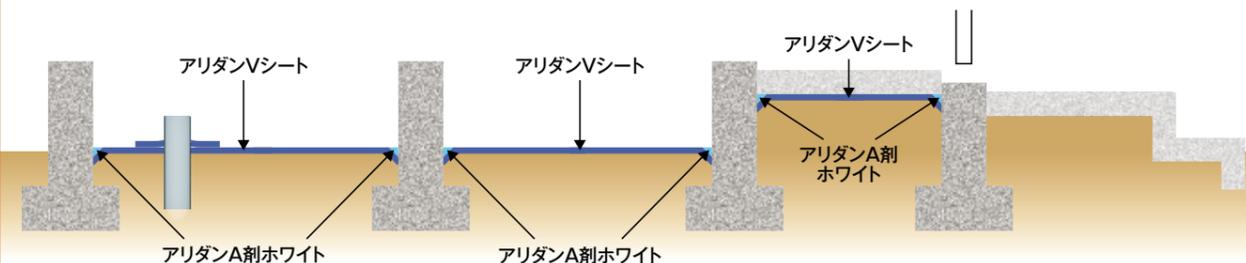
皆さまのお宅の床下には、アリダンシートが敷き詰められており、床下に潜れば、そのアリダンシートが確認できます。

今回の再施工工事では、このアリダンシートの「防蟻」効果と「防湿」効果はそのまま、さらに「防蟻」効果を強化すべく、アリダンシート下の土壌に「防蟻」効果のある樹脂を吹付け、被膜を形成します。



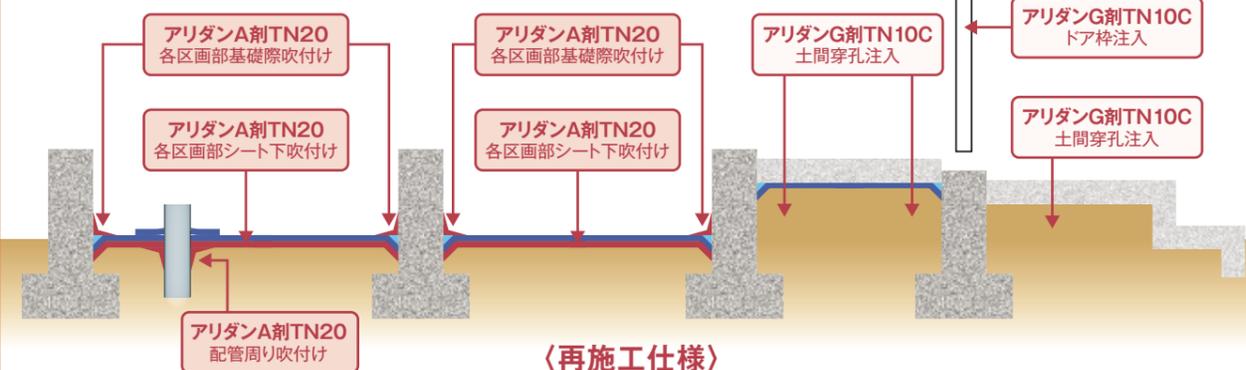
● 布基礎仕様

再施工前



〈新築時施工仕様〉

再施工後



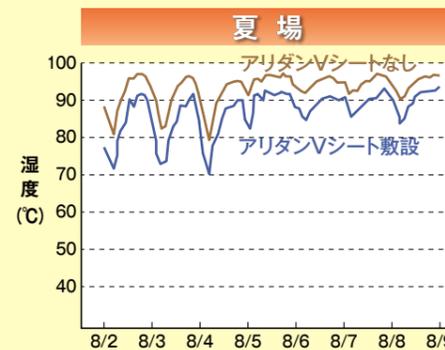
〈再施工仕様〉

アリダン工法により、防湿と防蟻のダブル効果を今後も継続しましょう!!

■ 土壌面からの湿気の流入を防ぐ(防湿性)

試験小屋での湿度変化の比較

住宅の床下を想定した試験小屋(各区画2m×2m)で、土壌面にアリダンVシートを敷設した場合と敷設していない場合の湿度(中央の地表面から25cmの位置)を測定。



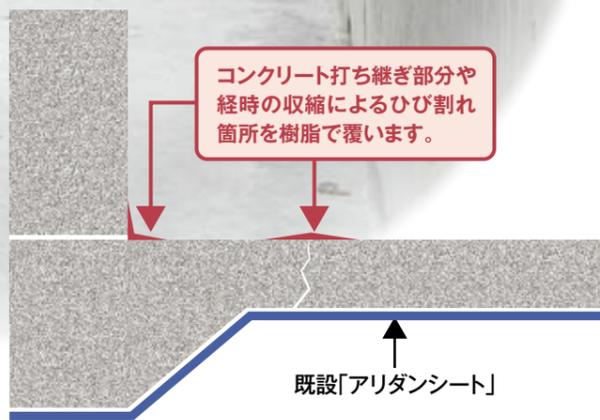
- アリダンの新築時の保証は**10年間**です。
- 10年を過ぎた保証切れ物件は、その後のシロアリ被害に対して、駆除
- 新築時に採用いただいた防蟻工法と同様の**再施工**工事による、

- ・修復費用が補償されません。
- シロアリ予防と保証延長をお勧めします。

土間
コンクリート
ベタ基礎

床面にコンクリートが打設されている物件

皆さまのお宅の床下には、アリダンシートが敷き詰められていますが、その上からコンクリートが打設されており、アリダンシートは目視では確認できません。今回の再施工工事では、コンクリート下のアリダンシートの「防蟻」効果はそのまま、コンクリート打設面からのシロアリの侵入防止に注力します。



アリダン工法は、薬剤を散布しません。だから薬剤成分が床下空気中に拡散されないため、高い安全性を有しています。

■ 薬剤成分揮散濃度の比較

一般的な住宅の床下で防蟻再施工を実際に行った際の薬剤揮散濃度(シラフルオフェン、イミダクロプリド)を測定

- 床下空間における薬剤揮散濃度(施工開始から2時間捕集)

従来の薬剤全面散布 イミダクロプリド 0.16μg/L

アリダン防蟻再施工 シラフルオフェン、イミダクロプリドともに **0.004μg/L未達** ※検査限界値 → 薬剤揮散濃度が極めて小さく、安全性が高い

※薬剤散布には有効成分イミダクロプリドのみを含有した製品を使用

アリダン防蟻再施工は、従来の薬剤全面散布に比べて 製品使用量 **約1/3~1/10** 薬剤有効成分量 **約1/2~1/5**

■ 製品使用量の比較

床面積約77㎡で防蟻再施工を行った場合の床下での製品使用量の比較

従来の薬剤全面散布 約240kg (薬剤有効成分240g)

アリダン防蟻再施工 **約23kg** (薬剤有効成分132g) ※アリダンペーストTN35Lの場合

アリダンペースト TN35L



- 有効成分：シラフルオフェン、イミダクロプリド
- 外観：オレンジ色ペースト状
- 用途：基礎際塗布用、防蟻ペースト剤
- 危険物区分：非危険物
- 毒劇物区分：普通物

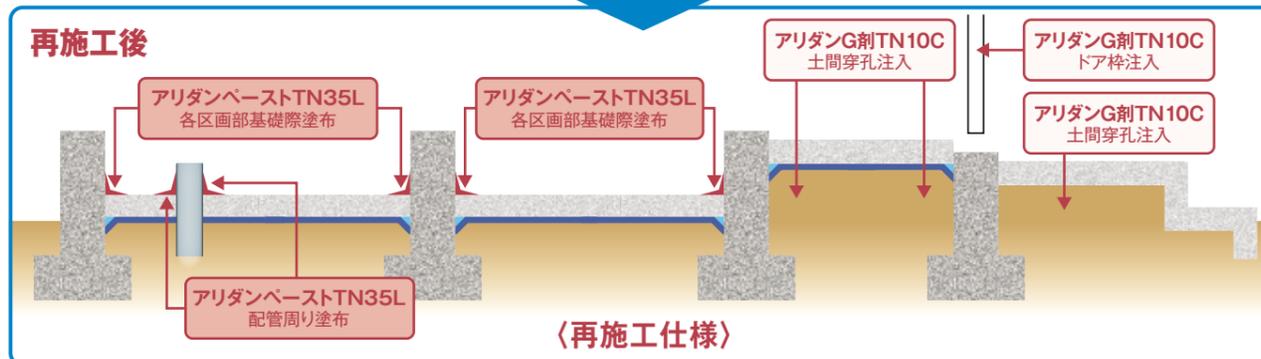
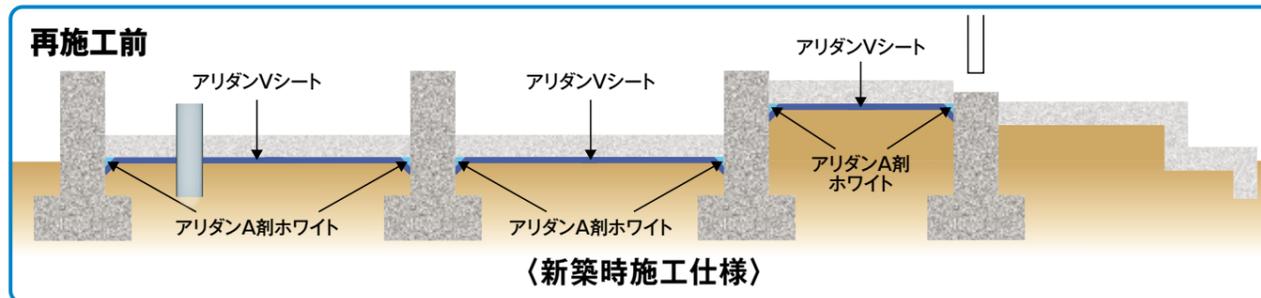
アリダンペースト剤の効力試験結果

試験方法 JWPAS-TS-S (貫通試験)

試験機関 財団法人 建築研究協会

ペースト剤をシート状約2mm厚に成形し、試験を行ったところ、貫通されず、優れた防蟻効果を発揮しました。

● 土間コンクリート仕様



● ベタ基礎仕様

